

ミニレター
あぜみち通信

* * * * *

平成 19 年 7 月 1 日

79 号

編集・発行：愛知県農業会議

優良農業委員会現地調査を実施

5月31日の全国農業委員会会長大会・WTO対策特別集會に引き続いて、6月1日、国分寺市農業委員会を訪れ、都市近郊地域における農地対策、農業振興施策の実施状況を調査しました。

調査には、知多、西三河、豊田加茂、新城設楽、東三河支部の市町村農業委員会の会長さん事務局長等37名が参加して実施しました。国分寺市からは、星野信夫市長、榎戸岩男農業委員会会長始め8名の農業委員さんも出席して頂け、情報提供を受けるとともに意見交換を行いました。

国分寺市は、11.5%全域が市街化区域、18.1%の約6割が生産緑地の指定を受けており、現在も農業委員会に「農地認定部会」を設け、積極的に指定をしておられました（平成18年度48件4.8%）。

都市住民の農業理解を深めるため、「市民農業大学講座」の開設を始め、「農ウオーク」（農のある風景の散策会）を実施しておられ、「市民農業大学講座」では平成4年からの15年間で618名の受講生があり、この一部は援農ボランティアとして養成し、平成8年度からの11年間で389名が登録し、18年度は23農家に88人が援農ボランティアとして派遣されているとのことでした。

国分寺市農業委員会は15名、内訳は公選10名、組織代表2名、議会推薦3名で、議会推進は農業関係大学2名、消費者団体1名（女性）で、議会推薦の委員が「農業委員会だより」の編集発行の中心となっております。

品目横断的経営安定対策、米政策改革推進の意見交換会が開催されました

6月4日、愛知県庁内で、品目横断的経営安定対策などの推進のため来県された農林水産省大臣官房審議官の吉田岳志氏との意見交換の場が持たれました。

意見交換会には、永田農林水産部長、森技監、古井園芸農産課長・太田主幹の他、愛知県農協中央会の水野部長と農業会議の平光事務局長が出席し、「米・大豆ナラシ対策」への加入促進や米の数量調整の推進などについて、県からの説明の後、意見交換が行われました。

愛知県側からは、生産目標の配分方法、事務の簡素化、利用集積に關しての相続税納税猶予制度の運用、転用（麦）種子の取り扱い見直しなど、現場の声を踏まえた要望を伝えました。

これに対して、農林水産省側からは、制度の浸透に対する県、農業団体の取り組

みについての質問や、国全体としての制度運用の考え方の説明の他、推進資料の充実などについて回答がありました。

常任議員会議（6月）の審議状況

6月7日には、農政の常任議員会議を開催し、県農林水産部農業振興課長さんから、平成19年度の県主要施策について説明を頂きました。

その後、事務局長から農業会議の平成19年度事業計画（重点）についての説明の後、石川政子委員から、女性農業委員の活動事例の紹介をして頂きました。

現在、女性の農業委員さんは30市町村の農業委員会に57名おられ、それぞれ活発に農業委員会業務に当たられるとともに、食育や家族経営協定の締結推進などにも積極的に取り組んでおられます。発表の後、現在は女性農業委員のおられない農業委員会会長さんから、活動を評価するとともに更なる活躍を期待するとのエールが送られていました。

なお、「あいち男女共同参画プラン21」では、2010年（平成22年）の女性農業委員を200名とする目標が掲げられております。

6月18日には、知事諮問案件を審議するための常任議員会議が開催され、農地法第4条に基づく転用事案34件20,314平方メートル、及び第5条に基づく転用事案250件195,040平方メートルが審議され、いずれも許可して差し支えない旨答申することが議決されました。

会議終了後、事務局から全国農業新聞最新号に基づき情報提供を行いました。この内13日に愛知県酪農農業協同組合（代表理事組合長：河合正秋常任議員）青年女性部が行われた「父の日に牛乳(ちち)を贈ろう」キャンペーンについては、河合議員から、消費拡大に取り組む背景及び愛知県の酪農の状況をご説明を頂きました。

農業委員会長・事務局長会議を開催

平成19年度における事務事業の円滑な推進を図るため、6月11・12の両日、農業委員会長・事務局長会議を開催しました

11日白壁庁舎で開催した尾張部の会長・局長会議では、寺島正名古屋支部長の挨拶の後、農業振興課の日比野主幹からもご挨拶を頂き、事務局から、重点事業計画、総務・農政・業務各課の事務事業について説明をしました。

12日は幸田町民会館で三河部の会長・事務局長を対象に開催し、杉浦西三河支部長さん・農業振興課木戸主任主査の挨拶の後、事務局からの説明をいたしました。

重点項目としては、新たな農政の展開と地域農業の体質強化への対応、農地と担い手を守り活かす運動の展開、担い手の育成・確保と経営支援への取り組み、農業者年金加入促進に向けた取り組み、食育・家族経営協定の推進、情報受発信の取り組み強化、人材育成への積極的な取り組み、の7項目についてお願いをしました。

説明終了後、担い手の育成・確保や全国農業新聞の普及拡大について、活発な意見表明がありました。

今後の事業展開は、この会議での了解に基づき推進させていただきます。関係各位のご協力をお願いします。

あいち食育県民大会が開催されました

平成19年6月7日、愛知芸術文化センター大ホールで、愛知県食育推進会議、愛知県、愛知県教育委員会の主催による「あいちの食育県民大会」が、関係機関・団体や一般県民約2000名が参加して開催されました。

大会では、愛知県食育推進会議の会長である神田真秋愛知県知事の主催者あいさつの後、2万5千点の中から選ばれた食育推進標語の優秀作品に対し、知事、愛知県議会議長、教育委員会からの表彰が行われ、副賞には愛知県特産の「温室みかん」が送られました。

知事賞 子どもの部：「朝ごはん 毎日食べて 元気な子」

澤田ありさ さん（犬山城東小3年生）

一般の部：「健康と 豊かな心 食にあり」

近藤美和子 さん（名古屋市）

東海農政局長及び愛知県議会議長の祝辞の後、大羽和子元名古屋女子大学長（食育推進計画検討委員会長）の基調報告、同大学の学生さんによる大会アピールが行われました。 大会アピール

- ・食の大切さを知り、食についての理解を深めよう
- ・体、心、環境を大切にす健全な食生活を実践しよう
- ・子どもや周りの人に食の大切さを伝えよう

この他、愛知県健康づくり食生活改善協議会、一宮市立丹陽南小学校、JAあいち豊田女性部三好支部及びユニー株式会社から、実践事例発表があった後、エッセイスト星野知子さんの「スローフード・スローライフで食を楽しみましょう」と題した記念講演が行われました。

本会からも、常任会議員会議終了後、数名の会議員さんが参加されました。

担い手育成総合支援協議会担当者会議を開催

愛知県担い手育成総合支援協議会は、6月6日白壁庁舎で尾張部の、8日には東三河総合庁舎で三河部の、地域担い手育成総合支援協議会担当者会議を開催しました。この会議には、担い手協議会が設立されていない市町村も含めて、53市町村、15JAの職員及び農林水産事務所農政課・農業改良普及課の担当者約120名が出席されました。

会議では、事務局から平成19年度の事業計画、県農林水産部農業振興課の主査から19年度アクションプログラムについて説明して、東海農政局の担当官から、担い手育成アクションサポート事業、担い手経営革新促進事業、地域担い手経営基盤強化総合対策実験事業（融資残補助事業）について説明を受けました。

質疑応答では、現場の実態に即した質問が相次ぎ、持ち帰り検討して回答することとなった事案もありました。地域のリーダーとして頑張る農家を応援するため、市町村・JAの担当者も熱心に議論をして頂きました。

団塊の世代定年就農支援事業担当者会議が開催されました

愛知県では、農業者の高齢化やこれに伴う耕作放棄地の増加などに対処するとともに、県内に約38万人おられるいわゆる「団塊の世代」の定年退職者の中の就農を希望される方々を円滑に農業へ導くため、平成19年度から、「団塊の世代定年

就農支援事業」を実施されます。

6月14日、三の丸庁舎において担当者会議が開催され、新規就農相談などに実績のある愛知県農業会議もこの会議に参加しました。

この事業は、団塊の世代の方達の相談窓口の設置（県庁農業振興課及び農林水産事務所農政課）、農業入門研修の実施（農業大学校）、就農相談会（農林水産事務所農政課・市町村）、具体的な技術習得・組織加入支援（農林水産事務所農業改良普及課）、情報発信（ホームページの開設）、市民農園の整備促進指導などからなっており、それぞれの機関・団体の知識・ノウハウを活用して、一人でも多くの人々の就農あるいは農作業参画を図ることとなりました。

その具体的な活動の第一弾としては、すでに農業大学校で実質40日間の「農業入門研修」が5月16日から行われており、その最終日の7月21日に、就農相談会が実施されることとなりました。

全国農業新聞情報連絡員研修会を開催

愛知県農業会議は、6月26日農業大学校において全国農業新聞情報連絡員研修会を開催しました。

19年度に委嘱する情報連絡員は25名で、その内12名が今年度から新たに情報連絡員として活躍して頂く方で、これらの方を中心に14名の情報連絡員が出席され、午前中は、全国農業新聞の意義や普及拡大並びに東海版・愛知版の記事の割り振りなどについて農業会議事務局から説明を行い、午後は、全国農業会議所新聞編集部の川鍋克仁次長を講師に、情報連絡員の任務、取材の仕方・記事の書き方、効果的な写真の撮り方などについて研修を行いました。

現地での農業委員さんや農家の皆さんの取り組みを、タイムリーに情報発信するため、情報連絡員さんの活躍をお願いします。

美浜町農業委員会が農業者年金優良加入推進活動顕彰で理事長賞を受賞

平成18年度に創設された農業者年金優良加入推進活動顕彰の第1回受賞団体に、美浜町農業委員会とあいち知多農業協同組合が選ばれ、このほど表彰状と記念品が届けられました。

愛知県農業会議では、6月11日の農業委員会会長・事務局長会議の冒頭で、谷川美浜町農業委員会会長へ伝達しました。

市町村・JA農業者年金担当者会議を開催

愛知県農業会議は愛知県農業協同組合中央会との共催で、市町村・JA農業者年金担当者会議を、6月29日に岡崎市のJA愛知研修所で開催しました。

会議の冒頭では、平成18年度の加入推進で大きな成果を上げ、農業者年金基金理事長表彰を受けられた美浜町農業委員会・JAあいち知多から、事例発表の後、農業者年金制度の概要、平成19年度の取組について説明を行いました。

特に、全国で加入者10万人の早期達成に向けての取組が進められており、本県においての加入推進方針について説明するとともに、各市町村農業委員会での実践をお願いします。

認定農業者連絡会が開催されました

現在、県内には8市に認定農業者の組織が設立されていますが、豊橋市認定農業者連絡会（5月25日既報）の他、知多市認定農業者会（5月25日）、岡崎市認定農業者連絡協議会（6月26日）、田原市認定農業者連絡会（6月28日）と各地で連絡会の総会が開かれました。

農業会議からは、愛知県担い手育成総合支援協議会の事務局として、総会に出席し、会員の皆さんの要望を承ってきました。

岡崎市の連絡会総会においては、「豊かな老後を迎えるために」と題して、農政課担当者から、農業者年金制度について、講演をさせていただきました。

また、田原市の連絡会では、総会の後、「日本農業のトップランナーを目指して」と題して、4月就任の鈴木克幸市長の熱の籠もった講演があり、終了後も日本一の農業産出額を誇る田原市のパワーを感じさせる、会員と市長との熱心な質疑応答（意見交換）がありました。

平成19年度JAグループ通常総会が開催されました

6月29日、愛知県農林会館において、愛知県農業協同組合中央会始め3連合会、6団体の平成18年度事業実績を報告・承認を求める通常総会が開催されました。

中央会の事業報告では、「担い手づくりに農政局・県・農業会議と共同して取り組み、品目横断的経営安定対策のナラシ対策の加入者確保を図った。」こと、経済連では「担い手の育成と営農活動支援に取り組む」こと等が報告され、何れも可決承認されました。

「体験農園を通じた団塊の世代の農的暮らし等の促進」について

都市近郊地域の17都府県の農業会議で構成する全国農業委員会都市農政対策協議会の主任者会議が、6月21日立川市で開催され、平成19年度の農林水産省公募事業「体験農園を通じた団塊の世代の農的暮らし等の促進」への対応と運営について検討され、最近首都圏において開設が進んでいる「農業体験農園」の普及拡大に向けて、調査・研究、啓発、研修会・講習会の開催等に取り組むこととなりました。県内でも研修会の開催が予定されています。

「農業体験農園」は、小区画の農地を特定の人に一定の期間貸し付ける「市民農園」とは異なり、農家（園主）と入園者が一体となって農業を行う形態のもので、練馬区で平成8年に開設されて以来、東京都内で開設が進み、現在約35の「農業体験農園」で、2千人以上の都市住民が農業にふれ農業を楽しんでおられるとのこと。先に、調査に出掛けた国分寺市でも、3農園が開設されていました。

「農業体験農園」は、園主が耕起、作付計画作成、施肥・防除の方法・時期及び収穫期の決定までこと細かく入園者に指導した上で、入園者は自らが関わった新鮮な農産物を手にすることが出来る形態で、1区画（30㎡程度）3万円の入園料（指導料込み）を受け取るシステムです。園主にとっては、レベルの様々な入園者に対して適切な指導を行うことが必要であるとか、入園者にとっては作物が園主の計画した範囲内に限定されるなどの制約もありますが、その農地を「相続税納税猶予制度」の対象とすることが出来るとされているものです。

愛花協だより（知事お祝いメッセージ、会長色紙贈呈）

刈谷市 鈴木英則さん・直美さん（6月9日挙式）
豊橋市 前田晃輔さん・真美さん（6月9日挙式）
名古屋市 小島宏さん・純江さん（6月17日挙式）
田原市 鈴木亮吉さん・英理加さん（6月23日挙式）
半田市 青木直之さん・美加さん（6月23日挙式）

この内、青木直之・美加さんは、挙式を前に二人が愛を育んだ県農業大学校へ純白のウエディングドレス姿で訪問され、二人で育てた乳牛や思い出の校舎内で記念写真を撮影されたことが、6月22日の中日新聞朝刊に、「農業大で育てた愛、ドレス姿の訪問、モー胸いっぱい」の大見出しとカラーの写真付きで掲載されておりました。

ご結婚おめでとうございます。一層のご活躍とご多幸を祈ります。

今後の主な行事予定

7月 2日（月） 愛知県担い手育成総合支援協議会総会（白壁庁舎）
7月 4日（水） 農業新聞普及推進重点農業委員会担当者会議（西三河総合庁舎）
7月 4日（水） 愛知県農業法人経営者協会総会（名古屋市中村区）
7月 4日（水） 愛知農林統計協会総会（名古屋市中区）
7月 6日（金） 経営構造対策研修会（蒲郡市）
7月 9日（月） 愛知県稲作経営者会議総会（クラウンホテル）
7月10日（火） 愛知県農業会議監査会（白壁庁舎）
7月17日（火） 常任議員会議（白壁庁舎）
7月18日（水）・19日（木） 全国稲作経営者会議（高松市）
7月19日（木）・20日（金） 全国農業コンクール（豊橋市・田原市）
7月21日（土） 団塊の世代定年就農相談会（農業大学校）
7月25日（水） 愛知県山村花き品評会（設楽町）
7月27日（金） 海部支部農業委員・事務局職員研修会（津島市）
7月29日（日） 第21回参議院議員通常選挙
7月29日（日） 全国優良農業者表彰農林水産大臣賞祝賀会（名古屋市）
8月2日（木）3日（金） 農業者年金加入推進部長特別研修会（岐阜市）
8月 6日（月） 知多支部農業委員・事務局職員研修会（半田市）
8月 9日（木） 西三河、豊田加茂支部農業委員・事務局職員研修会（安城市）
8月10日（金） 新城設楽、東三河支部農業委員・事務局職員研修会（豊川市）

あとがき

毎場所前に行われる大相撲の新弟子検査が、名古屋場所では希望者が無く、史上初めて取りやめとなったとのこと。東西の横綱がモンゴル出身で占められる状態とは言え、大相撲の世界も国際化と後継者不足が深刻化しているのでしょうか。

その大相撲名古屋場所での優勝力士の栄誉を称える愛知県知事賞の副賞として、昭和60年のメロン以来22年間、愛知特産の農産物・水産物が贈呈されており、農林水産物のブランド化に大いに効果をあげています。

本年は、名古屋コーチンの肉100キログラムと卵1,800個が贈呈されることとなりました。地元力士の健闘と名古屋コーチンの全国普及を祈るものです。